

(様式第4号)

調査研究完了報告書

調査研究課題	健康食品中に含まれる重金属に関する調査
研究期間	平成19年度～20年度 2年間
目的	健康食品中に鉛,カドミウム等有害重金属が高濃度で検出された事例がみられ,摂取による健康被害が懸念されている。健康食品中の重金属元素について,検査方法を確立し,流通製品の実態調査を実施することにより,重金属による健康被害の未然防止を目的としている。
得られた成果	試料の前処理方法を検討し,分解が比較的困難な形態である茶葉を含む試料の酸処理条件,マイクロ波分解装置による分解条件を決定した。 誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)の測定条件を決定し,試料前処理における元素回収率を求めた。 市場流通製品として,ドラッグストアで販売している健康食品を20品目(カプセル,茶葉等7形態)購入し,クロム,カドミウム,鉛の3成分について測定を実施した。一部の製品から,クロム,鉛が検出されたが,通常の摂取方法・摂取量であれば直ちに健康被害を及ぼす程度の濃度ではなかった。さらに,添加回収試験を実施した結果,80～120%程度の良好な回収率が得られた。
成果の普及・活用方法	本研究の成果については,本年度の当所年報に掲載予定である。
残された課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・ 対応できる重金属元素の種類を増やす。・ 油脂類を多く含有する検体の分析方法を検討する。

研究成果等の資料があれば添付すること。